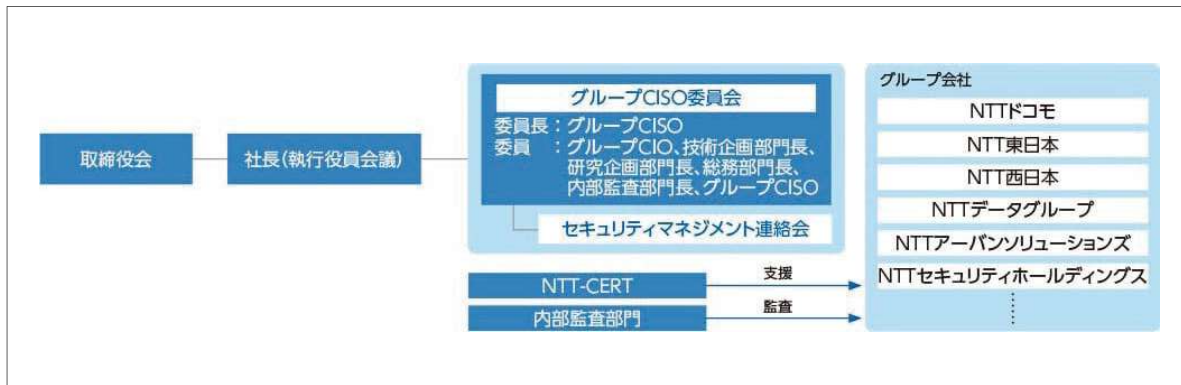
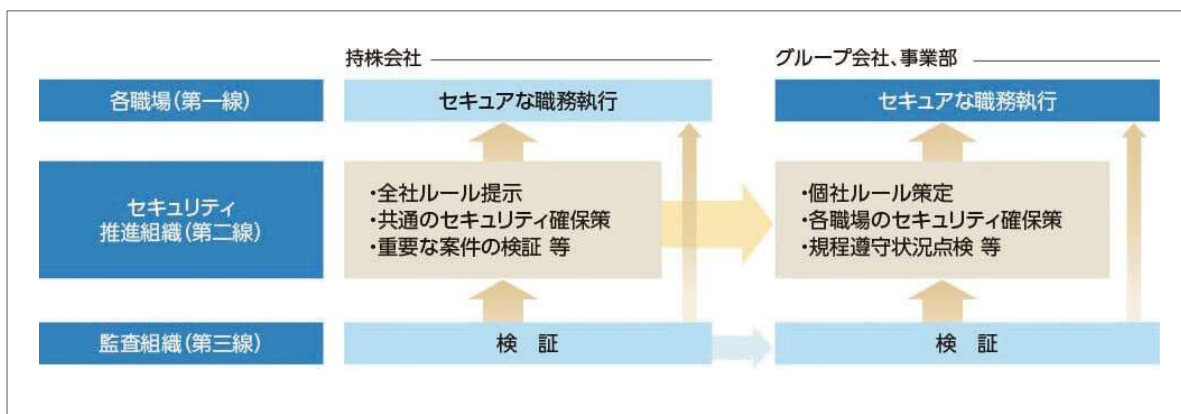


図表5-4-2 ▶NTTのセキュリティ推進体制



出所：NTT「情報セキュリティ・個人情報保護の強化」

図表5-4-3 ▶NTTグループがめざすセキュリティガバナンス



出所：NTT「情報セキュリティ・個人情報保護の強化」

クセスを厳しく制限する方式が主流だったが、クラウドサービスの利用拡大やリモートワークの定着により、「内部＝安全、外部＝危険」という前提が成り立たなくなった。こうした変化に対応するため、NTTは社内ITシステムだけでなく、OTシステムを含めたセキュリティ基盤の見直しを進めた。通信インフラや産業制御システムなど、社会の基盤を支える領域においても高度なセキュリティの確保が求められる中、より包括的な対策が不可欠となった。

このような状況を踏まえ、NTTは2021年10月に発表した中期経営戦略の見直しの中で、新たな経営スタイルへの変革を推進。その一環として、ゼロトラストシステムの導入と情報セキュリティの体系化を進めることを決定した。ゼロトラストとは、「すべてのアクセスを疑い、厳格な認証と継続的な監視を行う」セキュリティモデルであり、クラウド環境やリモートワークの拡大に適応するための新たなアプローチである。

2022年には、勤務場所を限定しない自由な働き方を前提としたゼロトラスト型のセキュリティ対策をさらに強化するため、情報セキュリティポリシーの全面的な見直しを実施。情報セキュリティ部門だけでなく、全社員がセキュリティ意識を高めることを目的に、規程類の可読性を向上

させ、確実に準拠できるものへと改訂した。これにより、グループ全体で一貫したセキュリティ対策基準を確立し、24時間365日体制の監視システムと脆弱性への迅速な対応プロセスを整備。特に、「セキュリティは全社一体で取り組むべき課題である」という意識の浸透を重視し、各事業会社の自主性を尊重しながらも、グループ共通の方針に基づくリスク管理を徹底することで、より強固な防御体制の構築をめざした。

セキュリティ専門人材の育成

NTTでは、グループ各社と連携しながら高度なセキュリティ専門人材の育成を推進してきた。ゼロトラストやクラウドネイティブ、DX、リモートワークの普及、ならびに国際情勢や社会動静など、セキュリティを取り巻く環境が急速に変化する中、NTTグループ全体として継続的な対応が求められた。実現のため、計画的かつ着実な人材育成が不可欠となり、特に高度な専門知識を持つ人材の確保と育成が強化されてきた。

この取り組みの一環として、2015年には2020年3月までにNTTグループ内のセキュリティ人材を約2,500人から約1万人へ増強することを目標に掲げ、育成施策を進め